goでLINEのAPIを叩く

経緯

goに対するあこがれ

LINEのAPIを使った人狼のbotが作りたかった

Messaging API

- · 9/29にLINEからリリース
- ・LINE@のアカウントを動かせる
- endpointにユーザーからのイベントが降ってくる
- · Trial APIの生まれ変わり

Trial API -> Messaging API

50人の友達登録制限撤廃

友達人数 × 1000 のメッセージ送信が可能に

個別のアカウントへの送信が不可能に

Trial API -> Messaging API

		Developer Trial O 円 月額(税込)	フリー 0 円 月額(税込)	ベーシック 5,400 円 月額(税込)	プロ 21,600 円 月額(税込)
Messaging API	Reply API	0	0	0	0
	Push API	0	×	×	10800円 月額(税込) → 無料(※)
配信/投稿	友だち数	50人	無制限	無制限	無制限
	メッセージ配信	無制限	有効友だち数 ×吹き出し数 1,000通まで	有効友だち数 5,000人以内は 無制限で配信可能	有効友だち数 100,000人以内は 無制限で配信可能
	タイムライン投稿	4回/月	4回/月	無制限	無制限
その他機能	LINE@の機能	その他にも様々な機能を提供しております。 詳細はLINE@のサービス紹介ページをご覧ください。			
オプション	プレミアムID	× 初年度2,592円/年 2年目以降1,296円/年			

Reply API

ユーザから受信したメッセージやイベントに返信

Reply API

```
"replyToken": "nHuyWiB7yP5Zw52FlkcQobQuGDXCTA",
"type": "message",
"timestamp": 1462629479859,
"source": {
 "type": "user",
 "userld": "U206d25c2ea6bd87c17655609a1c37cb8"
},
```

gっで叩く

https://github.com/line/line-bot-sdk-go

LINEが公式に公開しているgo用のSDK

perl, php, ruby, java, pythonのやつもある

```
import (
  "net/http"
  "github.com/line/line-bot-sdk-go/linebot"
type App struct {
  Bot *linebot.Client
```

```
func main() {
  bot, err := linebot.New( // クライアントを生成
     channelSecret,
     channelToken,
  app := App{bot}
  http.HandleFunc("/callback", app.Callback)
  http.ListenAndServe(":"+PORT, nil)
```

```
func (app *App) Callback(w http.ResponseWriter, req *http.Request) {
  events, err := bot.ParseRequest(req) // イベントをパース
  for _, event := range events {
    if event.Type == linebot.EventTypeMessage { // もしメッセージだったら
       switch message := event.Message.(type) {
       case *linebot.TextMessage: // もしテキストメッセージだったら
         app.Bot.ReplyMessage( // ReplyAPlをたたく
            event.ReplyToken,
            linebot.NewTextMessage( message.Text ) // MessageObject
         ).Do()
```

注意点

SSLでの通信をしないといけない

heroku、Azure Web App、AWSのなにかを使う

反省

自分の作りたいものについて詳細に企画するべきだった